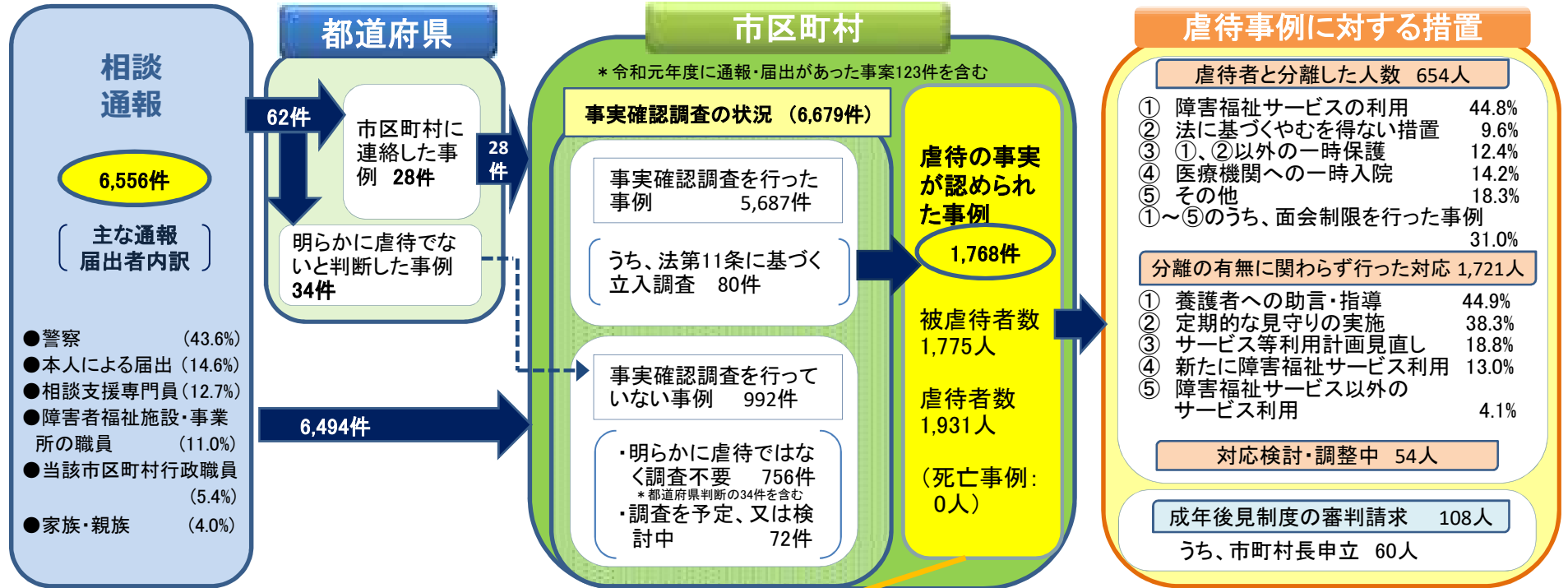


令和2年度 障害者虐待対応状況調査<養護者による障害者虐待>



虐待者(1,931人)

- 性別 男性(64.6%)、女性(35.2%)
- 年齢 60歳以上(38.2%)、50～59歳(24.8%)、40～49歳(18.0%)
- 続柄 父(25.2%)、母(22.6%)、夫(14.8%)、兄弟(13.2%)

虐待行為の類型(複数回答)

身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄、放置	経済的虐待
67.1%	2.9%	31.4%	13.0%	16.6%

市区町村職員が判断した虐待の発生要因や状況(複数回答)

虐待者が虐待と認識していない	45.7%
家庭における被虐待者と虐待者の人間関係	43.4%
虐待者の知識や情報の不足	26.1%
被虐待者の介護度や支援度の高さ	26.1%
虐待者の介護疲れ	20.5%
虐待者の障害、精神疾患や強い抑うつ状態	17.9%
家庭における経済的困窮(経済的問題)	17.7%

被虐待者(1,775人)

- 性別 男性(36.1%)、女性(63.9%)
- 年齢 50～59歳(21.9%)、40～49歳(20.3%)、20～29歳(20.2%)
- 障害種別(重複障害あり)

身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	難病等
17.3%	47.5%	41.6%	3.5%	2.1%

- 障害支援区分のある者 (51.0%)
- 行動障害がある者 (28.8%)
- 虐待者と同居 (85.4%)
- 世帯構成 両親(12.9%)、両親と兄弟姉妹(12.8%)、配偶者(10.8%)、単身(8.4%)